

人口減少社会における 復興支援： 福島医療復興の経験から

小早川義貴（こはやがわよしたか）

国立病院機構本部
DMAT事務局・福島復興支援室

国立病院機構本部DMAT事務局
(旧・国立病院機構災害医療センター災害医療企画運営部)

福島復興支援室



- 福島県 13万人避難 (200万人)
- 震災関連死・生活不活発病
- 放射線健康影響への不安
- 地域医療体制の崩壊
- 長期に及ぶ復興過程



災害医療の専門機関として
継続的な支援

2014年6月16日 開所式(福島市)

DMAT福島県調整本部・被ばく医療本部



一時立ち入り



スクリーニング



よろず健康相談



高齢化の現状

- 65歳以上の高齢者人口： 3, 6 2 4万人
- 総人口： 12,495万人総人口に占める65歳以上人口割合（高齢化率）：
29.0%
- 「65～74歳人口」（前期高齢者）：
1,687 万人（13.5%）
- 「75歳以上人口」（後期高齢者）：
1,936 万人（15.5%）

避難所と高齢化

宮城県81カ所の避難所：高齢化率**44%**

(日本経済新聞：2011年4月27日，NPO調べ)

- 全国： 22 % (2010)
- 宮城県： 22.5% (2012)
 - 栗原圏： 31.9% (Max)、仙台圏： 19.8% (Min)
 - 七ヶ宿町： **43.2% (Max)**、富谷町： 13.8% (Min)



石川県珠洲市



大きな復興・小さな復興*
(室崎益輝「東日本大震災からの復興についてのメモ」(2013)の意とは異なる)

双葉郡の救急医療体制支援



ラピッドレスポンスカー運用



福島県ふたば医療センター附属病院

Bricolage的対応

より良い状態

元の状態

不足状態

被災からの時間

瞬時に戻せれば一番よい

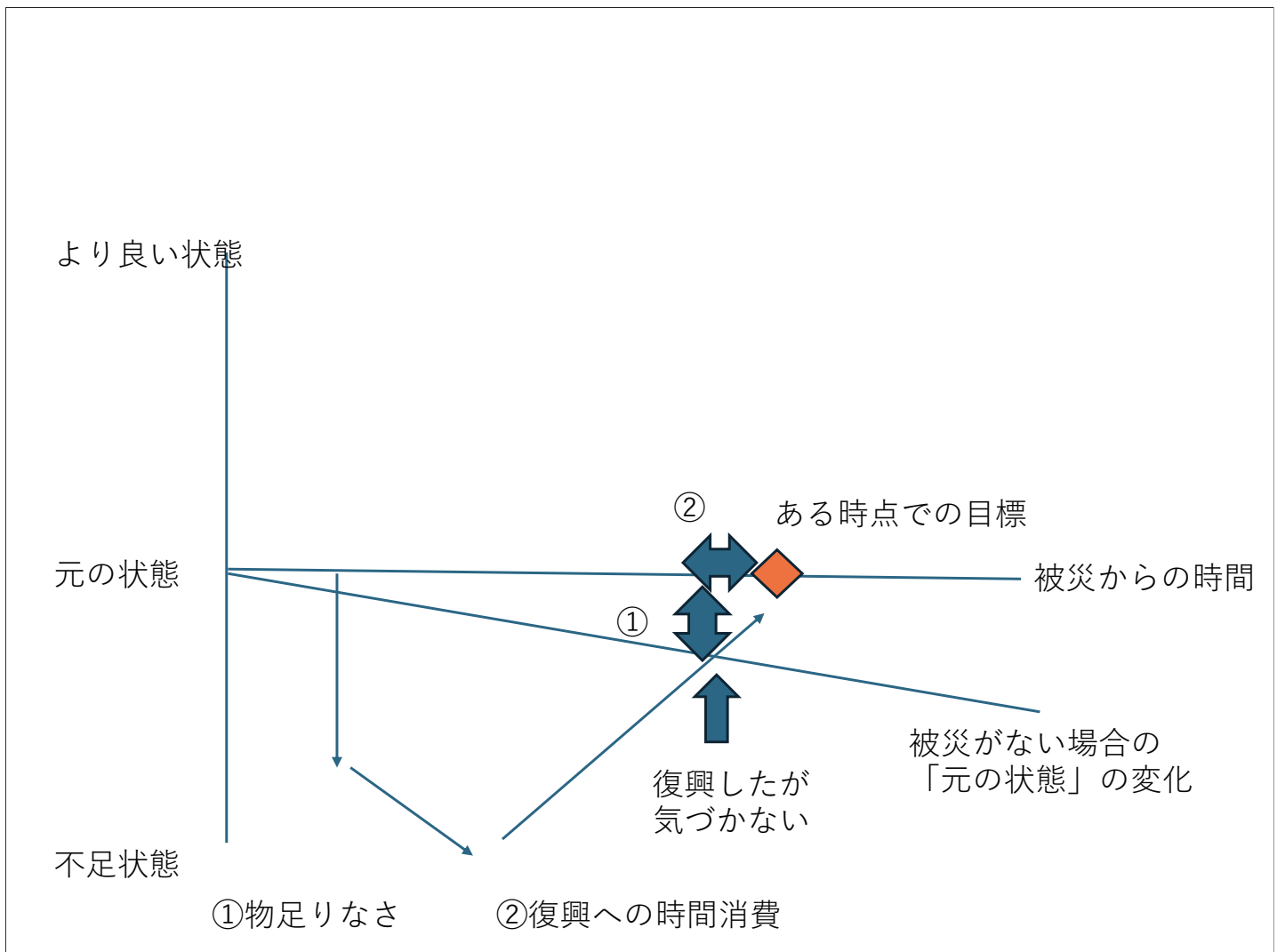
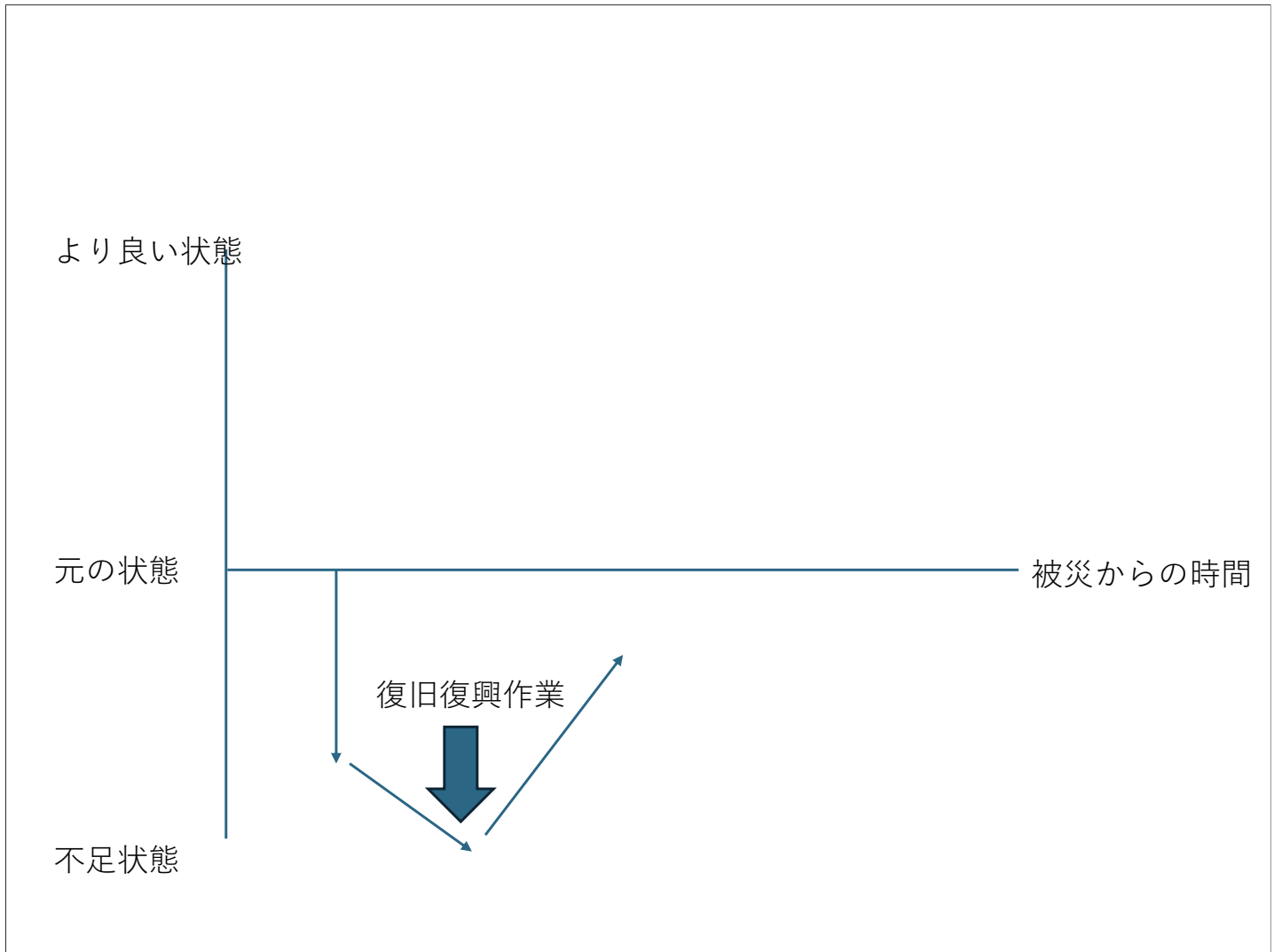
より良い状態

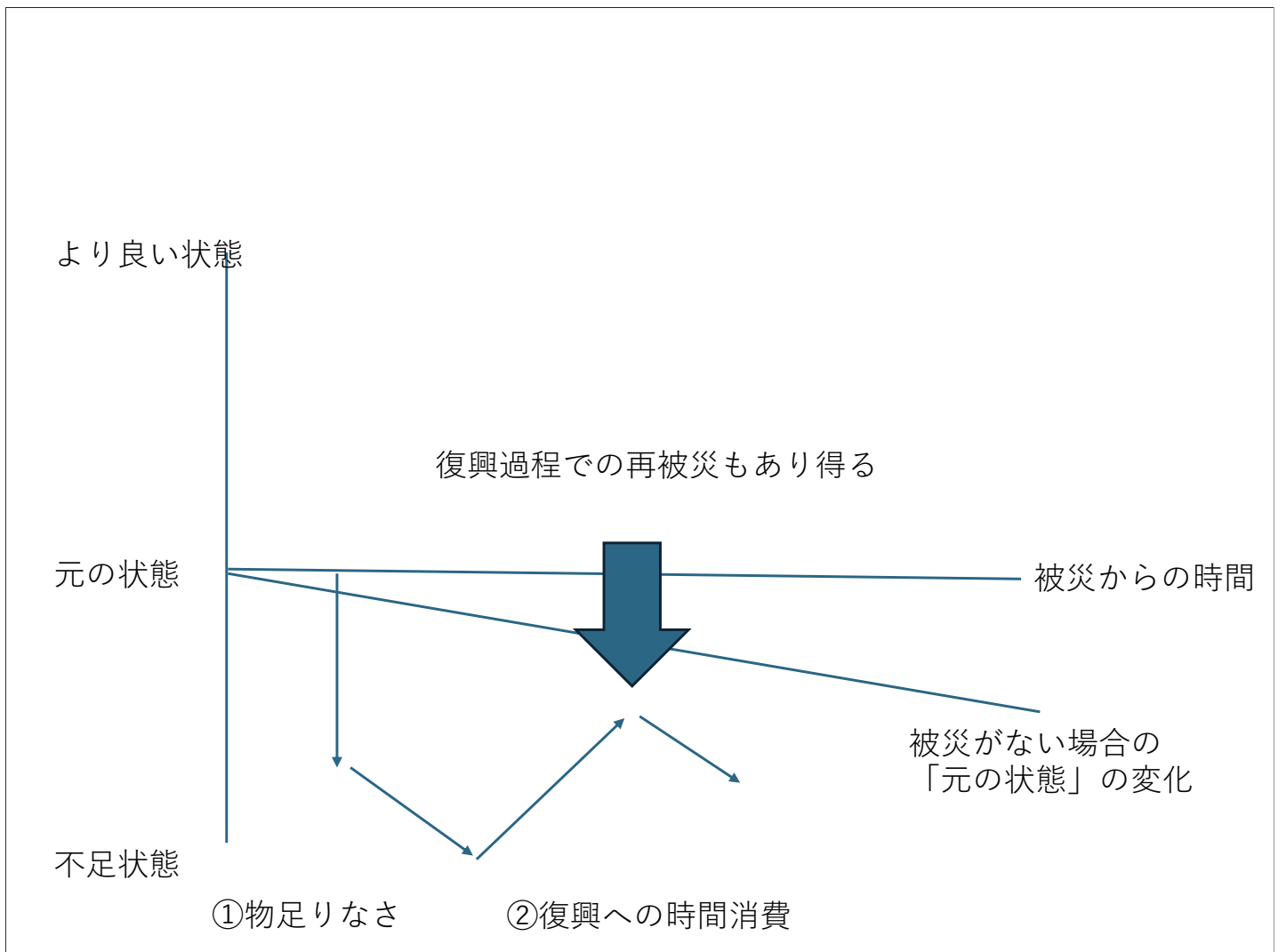
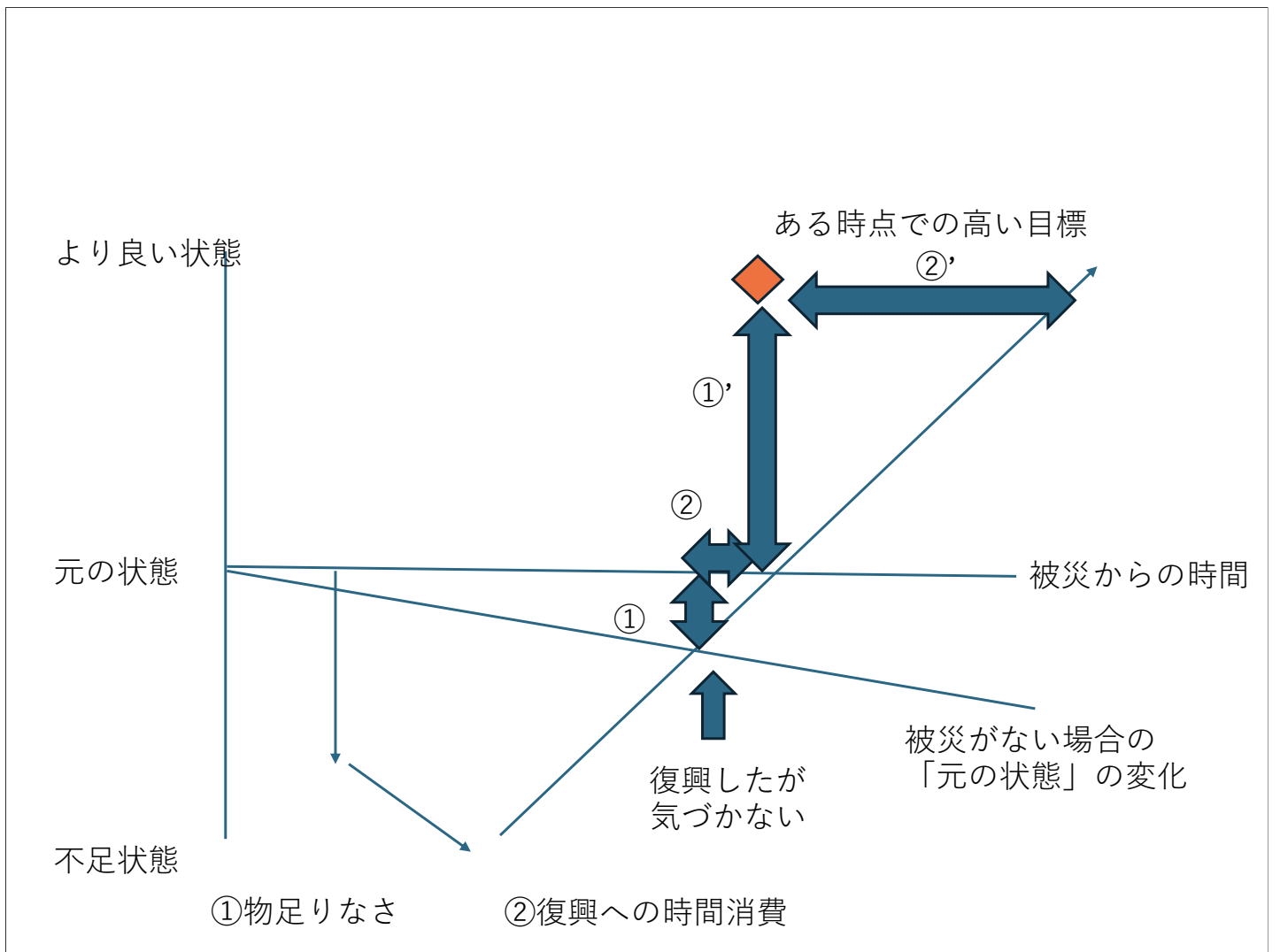
元の状態

不足状態

被災からの時間







高齢化社会

- 復興は寿命との戦いで時間因子の重要性が増す
 - 被災当時の個々人の復興と地域の復興は乖離
- 地域：移住者、将来その地に生まれてくる人を含む
- 大きな復興は地域の復興に重要だが、小さな復興も同時に成し遂げる取り組みが必要



大きな復興・小さな復興*
(室崎益輝「東日本大震災からの復興についてのメモ」(2013)の意とは異なる)